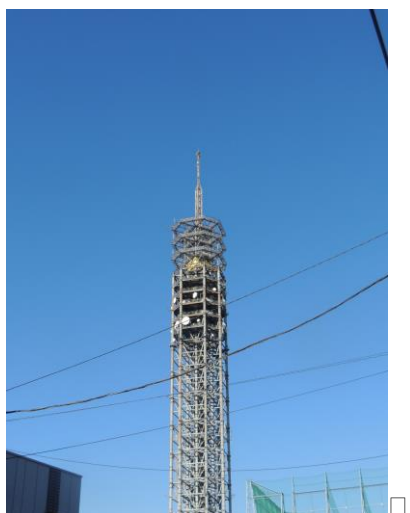


西東京市を歩く(6)

田無町・芝久保町・西原町

12月28日(火) 晴れ

- ★ 今年最後の散策の会は快晴・無風、11月頃の暖かな日和に恵まれ、西東京市の西部を歩いた。
- ★ 田無駅北口のロータリーを北へ100mほど歩くと「ふれあいのこみち」という細い道がある。この道は、小平市の喜平橋付近で玉川上水から分水したあと、橋場で2本に分かれて田無駅の先で石神井川に落とされた「田無用水」の水路跡に作られたもので、青梅街道の南側が「ふれあいのこみち」、北側が「やすらぎのこみち」である。幅1mに満たない狭い道であるが、車が通らないので安心して歩くことができる。
- ★ 橋場で青梅街道を横断して東京街道に入る。東京街道は橋場から東大和市の新青梅街道との交差点まで続く青梅街道の裏道であるが、その割には大袈裟な名前が付いている。ここまで来るとスカイタワー西東京、通称田無タワーが大きく見えてくる。1989年(平成元年)に完成した高さ195mの多目的電波塔である。



西東京スカイタワー



多摩六都科学館全景

- ★ 田無タワーに隣接して多摩六都科学館がある。1994年に田無市、保谷市など六市により設置された科学館である。チャレンジの部屋、からだの部屋、しくみの部屋などの展示室のほかにプラネタリウムがある。プラネタリウムドームは直径27.5m、世界最大の大きさで、足元から頭上まで星空や映像に包まれる傾斜型のドームである。投影機「CHIRON II」(ケイロンII)は1億4000万個を越える星々を映し出す世界一のプラネタリウムである。我々は30分だけの見学ということでプラネタリウムは見なかった。展示は小学生にもわかりやすいもので、この日も小学生の団体が見学に来ていた。

- ★ 六都科学館を出て新青梅街道を横断する。この辺りは西東京市と小平市、東久留米市との境界で、一旦東久留米市に出たすぐ西東京市に戻る。東久留米境通りを北東へ向かって歩く。左の東久留米側は畑が広がっているが、その中に新しい住宅が建ち始めている。右の西東京市側は西原グリーンハイツというマンションである。1980年頃に建てられた古いマンションであるが、それほど古さは感じさせないし、広場や道も広々としている。周囲はまだ畑が多く、長閑な田園風景である。
- ★ マンションのすぐ隣に西原自然公園がある。武蔵野の自然をそのまま残した形で、ケヤキやクヌギの高木が立ち並んでいる。林の中の小径を歩くと降り積もった枯葉がカサカサと音を立て、初冬のやわらかい陽射しが差し込んでくる。小さな東屋でしばらく休憩した。志賀さんは他用のためここで別れ、我々は西原自然公園通りを文華女子高校前で右折して、鎌倉街道に出て左折し六角地蔵へ向かった。鎌倉街道は鎌倉へ通ずる道の総称で、上道、中道、下道の3本の幹線があった。多摩地区を通るのは上道で、鎌倉から町田、府中、東村山、所沢を経て足利まで続いている。幹線以外にも多くの脇道があり、保谷駅近くから保谷高校を経て田無二中までの横山道（フラワー通りを含む）と六角地蔵から田無三中を経て小平市で上道につながる鎌倉街道は、東大農場で分断されているが、元は1本のつながった「鎌倉街道」であったと考えられる。



西原自然公園



六角地蔵尊

- ★ 六角地蔵は鎌倉街道と所沢街道との交差点近くにある。またこの交差点からひばりが丘団地方向へ向かう道が分かれており、今年新たに東大農場を横切って北原町へ向かう道も開通しており、この交差点には5本の道が集まっている。
石幢六角地蔵尊は江戸時代の安永8年（1779）に建立された六角形の地蔵尊で、六角の面に地蔵尊が浮き彫りにされている。足元には道しるべが刻まれている。
我々が六角地蔵の前を通りかかったとき、老夫婦がお地蔵さんにお参りをしていた。この二人は毎日お参りして付近の掃除をしているとのことであった。
- ★ 六角地蔵から所沢街道を田無駅方面へ向かう。左手は東大演習林と東大農場で、見どころも多いので見学したいところであるが、コロナの為に見学を中止しているので、止むを得ず素通りして、田無山総持寺へ。総持寺は真言宗智山派の寺で、関東三十六不動尊霊場の第10番札所である。山門には四天王像が安置され、境内には西東京の木50選に選定された大きなケヤキの木がある。
- ★ 4時過ぎに田無駅に戻ってきた。コロナの感染が大分落ち着いているので、駅前の居酒屋で忘年会をやって、2022年が幸せになるように祈りながら解散した。田無駅前の電飾もきれいであった。



西原自然公園の東屋で



夜の田無駅前

俳句を頂きました。

暗渠なる 小道四温の 遊歩かな

冬木立 入日かたぶき 寂とせり

プラネタリウム 見上ぐ学童 冬うらら 志賀 勉

柵の 生垣高し 多摩の里

自然園 積りしままの 枯葉かな

地藏尊 後光のごとく 冬夕焼 桑田青三

山茶花の 花びら落ちて 花絨毯

青空に 孤独に映えて 冬木立 水野博司

写真と文 小島恕雄

参加者 桑田制三、小島恕雄夫妻、志賀 勉、滑志田隆、牧野昭夫、
水野 聰夫妻、水野博司 以上 9 名

散策の会の前日に、梶原松子さんが我が家に来られました。特に健康上の問題はないそうですが、この頃は歩くのが遅くなって、散策の会の皆さんにご迷惑がかかると思うので、散策の会は退会したいということでした。

梶原さんは、私が幹事となった当初からお主人と二人で参加され、御主人が亡くなられたあとでもずっと参加されてきました。

梶原さんから散策の会に寸志として5千円を頂きました。六都科学館の入館料として使わせて頂きました。ありがとうございました。